

高麗の里「巾着田 曼珠沙華公園」：大人の遠足 (2022/09/21)

TH

9月21日(水)、大人の遠足に参加しました。「Q ナゴミ」の仲間9人の集まりで、高麗の里「[巾着田 曼珠沙華公園](#)」を散策しました。台風14号の影響で実施が危うかったのですが、前日予報では曇りとなり実施になりました。

当日午前10時頃に高麗駅前に集合。周りは、マスクをした同年配の女性・男性で一杯です。ちょうどお彼岸に当たっており、皆さんそれぞれに「彼岸花(曼珠沙華の別名)」に思い覚えることがあってこられたのかと勝手に思うのでした。参加者9名(女性2名、男性7名)が全員揃い、巾着田に向かいました。途中のコンビニで昼食と飲み物を購入して、川べりを年齢相応にノンビリと歩いて行くと、関所(?)があります。ここで入場料一人500円を払い、体温チェックを受けます。関所を全員無事通過して、いよいよ一面真っ赤な曼珠沙華の公園に入りました。

「100万本のバラ」より多い「500万本の曼珠沙華」ですね。まさしく驚くような風景です。その公園の中を1時間ほどゆっくり歩きながら、曼珠沙華を鑑賞しました。ちょうど秋の日差しが差し込みその光が曼珠沙華の赤い花びらにキラキラと反射して輝いていました。何とも言えない気分になったのは私だけでしょうか? 陶酔にも似た満足な気分になりました。群生の中には白い曼珠沙華もあり、白い花びらがほんわりとピンク色をしていたこともそっと魅せてくれました。

そして、公園内の広場で昼食タイムです。ベンチに座り、車座になり、思い想いの食事を楽しみました。中には、ちゃんとアルコール飲料を準備している方もあり、「秋の花見気分が最高だなあ」と言っていたり浸っていたりでした。また、手料理を持って来てくださった方もあり、御馳走になりました。有難うございました。

それから、公園内の帰り道で、紫色の実を付けた「紫式部」を初めて観ました。名前は知っていたのですが、……。気品ある紫色の実はとても感激ものでした。

駅から公園までは坂道になっていますが、公園内はほぼ平らであり、車椅子で鑑賞される方もおられました。とても散策しやすくなっています。花の写真をいくつか添付しますが、現物の美しさや真っ赤な迫力をとても映しえていません。ご参考までに、今年の「曼珠沙華まつり」は、10月2日までです。

今回は、「Q ナゴミ」の仲間と戸外で楽しくお話が出来ました。これは、心の栄養になり、明日からも明るく元気に行こうという気持ちになります。

参加された皆さん、お疲れ様でした。次は、どんなイベントがあるかな～?







紫式部